学校自己点検・自己評価表（アーティスティックB横浜美容専門学校） 令和1年度

（評価期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）

1．学校の教育目標

「わが学園は、教育を通して「努力心」「誠実心」「独立心」を養い、 平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命とする」
本学園の建学の精神を基に、
①美と健康と癒しをテーマに、感性とロジックを融合させた教育を展開します。
②アーティスティックでビジネスマインドをもった美容師、ネイリスト、メイクアップアーティスト、エステティシャンを育成します。
③職業訓練学校の原点に立ち戻り、就職率を高め同時に就職後の定着率の高い人材育成に努めます。

2．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①働く意識の涵養を目指したビジネス教育の充実と自己啓発の促進。
②教育ストーリーに沿った楽しい教育の実現と在学生の退学率の低下。
③早期独立を目指すサロン実習及モデル実習
④授業カリキュラムの見直し及び産学連携教育の強化。

3．評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	3	2	1	4
・学校における職業教育の特色は何か（TB 科・・・学生サロン「フェリーテェ」・エステティックサロン「Beauty Therepy Ai YOKOHAMA」）	4	3	2	1	3.8
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1	3.8
・学校の理念、目的、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1	4

①課題

・産学連携教育の充実、インターンシップ先の教育内容の充実。
・業界の動向を考慮してカリキュラム内容の変更。

②今後の改善方策

・インターンシップ先の教育内容の充実を図る
・教育課程編成委員会以外でも、就職先企業との現場教育の実態の把握に努める。

③特記事項

（2）学校運営

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均
・目的に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されている	4	3	2	1	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能して いるか	4	3	2	1	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1	3.8
・教務、財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1	3.8

①課題

・情報システムは整備されているが、使いこなせていないところもある

②今後の改善方策

・PC 活用レベルの更なるレベルアップ（個人レベルの差がある）

③特記事項

（3）教育活動

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているのか	4	3	2	1	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1	4

・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1	3.8
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1	3.8
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	3	2	1	3.8
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1	3.7

①課題

・授業変更が困難で参加したい研修に参加できない時がある。

・資格取得については課題の変更等があったため今後の見直しが必要な教科もある

②今後の改善方策

・外部研修等は日程をなるべく早く把握して年間計画をする。

・計画的に上司と相談しながら授業変更等を行い、積極的に研修に参加できるようにする。

・学校の年間予定と照らし合わせて、参加可能な外部研修は事前計画を立て、積極的に参加できるようにする

・資格取得については試験対策の準備を行う

③特記事項

（4）学修成果

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均

・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1	4
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1	4
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1	3.5
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1	3
・卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1	3.3

①課題

・卒業生の状況把握について

・退学者を減らす。卒業生の活躍の把握はできていない。

・個人情報の問題があり、卒業生の情報が把握できない。

・卒業後の活躍等については、把握できていない

②今後の改善方策

・学園と関わりのあるサロン以外の就職の場合、卒業後の把握が難しい。
・同窓会などで定期的に情報交換ができる機会（火曜日の放課後等）が設定できることが望ましい。
・卒業後の情報把握はSNSを利用し、一方通行にならないようしていく。

・卒業期に卒業生と情報交換できるように学校側も努力する。特に校友会の運営を学校主体となり運営する。
・卒業生との連絡方法（SNS や校友会）をシステムとして構築する必要がある

・学校独自の校友会の設立も検討する必要がある（サービス業従事者が多いため、従来の校友会では参加は難しい）
・退学率を抑えるために、学生の悩みや生活指導も含めた学生指導は、担任は下より全教員で対応する。毎日の終礼にて、気になる学生の情報共有をより一層行うことが必要。
・学生に対するカウンセリング力を高める研修の参加。

③特記事項

（5）学生支援

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均

・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1	3.8
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1	3.8
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1	3.5
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	4
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	3	2	1	3.8

①課題

・卒業生への支援体制

②今後の改善方策

・卒業生のその後に関しては担任に因るところが大きいので、卒業生との連絡方法を検討する必要がある

③特記事項

・独立支援、再就職支援、復職支援、などが充実。

（6）教育環境

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1	3.7
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	4
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1	3.7

①課題

・大規模な地震等に対する対策

・マニュアル、備蓄品の整備はできている。一時避難場所の避難訓練は実施しているが、広域避難場所までの徒歩での道のりを把握する必要がある。

・防災に対する体制は整備されてきたが（マニュアル等）、実際の訓練が必要

②今後の改善方策

・備蓄品の充実（非常食の追加・保存水の追加）

・自分の足で歩き、危険性のある所などを把握しておく

・避難訓練の内容を検討する必要がある

③特記事項

（7）学生の受け入れ募集

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1	3.7
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1	4

①課題

・美容に興味がある学生により多くの情報を伝える事。

②今後の改善方策

・学校案内の見直し及び SNS 等の活用により教育成果を解かりやすく伝える。学生の協力により教育成果物等を伝えるための動画や写真の掲載を計画的に行う。

③特記事項

（8）財務

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1	3.3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1	3.7
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1	3.7
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1	3.7

①課題

・トータルビューティー科の定員確保とビューティースタイリスト科の募集人数増になった場合の定員確保

・本業の財務基盤を固める事業計画を立てる。
・本業の財務基盤をサポートする補助・附属活動や付帯事業の計画を立てる。

②今後の改善方策

・学校説明会・体験入学での高校生満足度アップ
学生アシスタントの事前指導（自主的に動ける人材育成・高校生への会話力向上）
各科の説明でのアピールポイントの明確化（なぜ在校生が満足しているのか等）
・現時点でも補助活動等を行っているが、それの収益性を上げる。
・高校、高校生に対して当校の認知がいまだされていない。その状況を打開するための広報戦略が必要。
・早い段階での高校生、入学対象者への接触。

③特記事項

（9）法令等の遵守

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1	4

・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1	4

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

（10）社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1	3.7
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1	4

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

（11）国際交流

評 価 項 目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価平均
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1	4

・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1	3.8
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1	3.3
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1	3.3

①課題

・美容分野での就職先は確保が困難。主な理由として入国管理局でビザがでない。今後の日本の行政と規制緩和が必要

②今後の改善方策

・大学卒業者を入学できるようにする。学校と企業との就職できる特別な関係を構築する。

③特記事項

評価実施者:	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校教職員
評価実施日:	2020年2月28日